

財政計画（令和6年度～令和15年度）の概要

令和5年8月
長 浜 市

課題・見直しの背景

- 本市の課題
 - ①財政の硬直化の進展
 - ②老朽化する公共施設・インフラ資産の適正管理
 - ③限られた資源・資産を有効に活用した将来への備え
- 現行の計画策定時には見込んでいなかった社会保障費の増大や施設の老朽化に伴う維持・保全、公営企業や一部事務組合の施設整備に対する負担等の歳出需要の増加により現計画との乖離が大幅に生じる見通しです。

今後の財政運営の方針

【基本方針】 未来の長浜市民に、よりよきものを引き継ぐ

- 人口減少と少子高齢化が加速する中、本市を取り巻く環境の変化に的確に対応するため、地方税収入をはじめとする歳入の予測と歳出の見通しを長期的視点から検討し、限られた財源の効果的な運用を図り、もって「持続可能な行政経営が行える財政構造の確立」を目指します。

財政運営の目標

- 基本方針に沿った財政運営を進めていくため、次のとおり基本目標を設定します。

目標の項目と指標		目標値	基準値
①財政の硬直化の回避	経常収支比率	95.0%以下	89.0% (R3決算)
②適切な資産管理	市民一人当たり有形固定資産額残高	165万円以下	184万円 (R3決算)
③将来負担額の削減	地方債残高	360億円以下	419億円 (R4見込)
	基金残高	170億円以上	369億円 (R4見込)

【目標達成に向けた取組】

- ①人件費の抑制
- ②物件費の抑制
- ③補助費等の抑制
- ④公共施設等の総量縮減・長寿命化
- ⑤投資的経費の適正化・平準化
- ⑥地方債の繰上償還
- ⑦基金の活用

※①～⑦の取組のほか、様々な観点から歳入確保の取組を進めます。

歳入・歳出の計画

- 基本目標及び目標達成に向けた取組を踏まえた今後10年間の歳入・歳出の計画を作成しました。

予定貸借対照表

(令和16年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	201,508	固定負債	41,160
有形固定資産	162,774	流動負債	4,219
事業用資産	103,798	負債合計	45,379
インフラ資産	57,573	【純資産の部】	
物品	1,403	固定資産等形成分	204,158
無形固定資産	72	余剰分（不足分）	△ 42,878
投資その他の資産	38,662	純資産合計	161,280
流動資産	5,151	負債及び純資産合計	206,659
資産合計	206,659		

- 進捗状況については、毎年度、当初予算の編成や地方財政状況調査等を通じて把握・公表します。